

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】令和3年10月7日(2021.10.7)

【公開番号】特開2021-34072(P2021-34072A)

【公開日】令和3年3月1日(2021.3.1)

【年通号数】公開・登録公報2021-011

【出願番号】特願2019-149950(P2019-149950)

【国際特許分類】

G 11 B 5/70 (2006.01)

G 11 B 5/78 (2006.01)

G 11 B 5/735 (2006.01)

G 11 B 5/738 (2006.01)

G 11 B 5/706 (2006.01)

【F I】

G 11 B 5/70

G 11 B 5/78

G 11 B 5/735

G 11 B 5/738

G 11 B 5/706

【手続補正書】

【提出日】令和3年8月30日(2021.8.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

非磁性支持体と強磁性粉末を含む磁性層とを有する磁気テープであって、
70 10時間の加熱前後で、50 ~ 100 の範囲の測定温度における損失正接 tan
n の変化量 1 が 0.000 以上 0.012 以下である磁気テープ。

【請求項2】

非磁性支持体の一方の表面側に前記磁性層を有し、他方の表面側に非磁性粉末を含むバッ
クコート層を有し、下記式：

$$2 = a \times [D_a / (D_a + D_b)] + b \times [D_b / (D_a + D_b)]$$

により求められる変化量 2 が、0.000 以上 0.020 以下である、請求項1に記載
の磁気テープ；

式中、

D a は、前記非磁性支持体上の前記磁性層側の部分の厚みであり、

a は、前記加熱前後での前記磁性層側の部分の 50 ~ 100 の範囲の測定温度にお
ける損失正接 tan n の変化量であり、

D b は、前記非磁性支持体上の前記バックコート層側の部分の厚みであり、

b は、前記加熱前後での前記バックコート層側の部分の 50 ~ 100 の範囲の測定
温度における損失正接 tan n の変化量である。

【請求項3】

前記磁性層側の部分の厚み D a が 0.20 μm 以上 0.50 μm 以下であり、かつ
前記バックコート層側の部分の厚み D b が 0.20 μm 以上 1.50 μm 以下である、請
求項2に記載の磁気テープ。

【請求項 4】

前記磁性層側の部分の厚み D a が 0 . 2 0 μm 以上 1 . 0 0 μm 以下であり、かつ前記バックコート層側の部分の厚み D b が 0 . 2 0 μm 以上 0 . 9 0 μm 以下である、請求項 2 に記載の磁気テープ。

【請求項 5】

前記バックコート層は、無機粉末およびカーボンブラックからなる群から選ばれる 1 種以上の非磁性粉末を含む、請求項 2 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の磁気テープ。

【請求項 6】

前記非磁性支持体と前記磁性層との間に、非磁性粉末を含む非磁性層を有する、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の磁気テープ。

【請求項 7】

前記強磁性粉末は、六方晶フェライト粉末である、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の磁気テープ。

【請求項 8】

前記強磁性粉末は、 - 酸化鉄粉末である、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の磁気テープ。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の磁気テープを含む磁気テープカートリッジ。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の磁気テープと、磁気ヘッドと、を含む磁気記録再生装置。